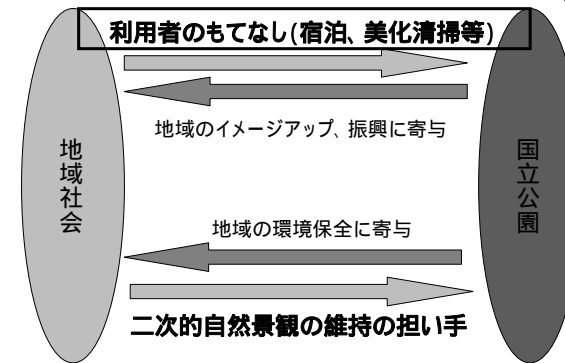


論点3 地域社会の健全な維持・発展
に配慮した公園の管理運営
のあり方

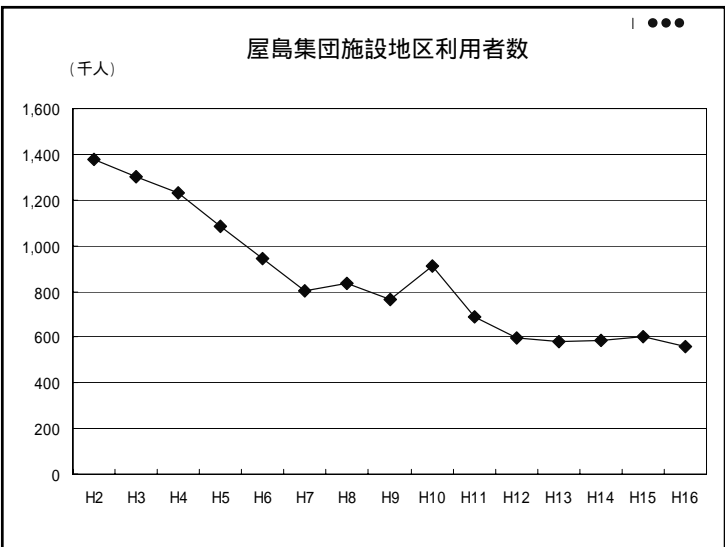
地域社会と国立公園の関係



瀬戸内海国立公園(屋島)の事例



屋島からの展望

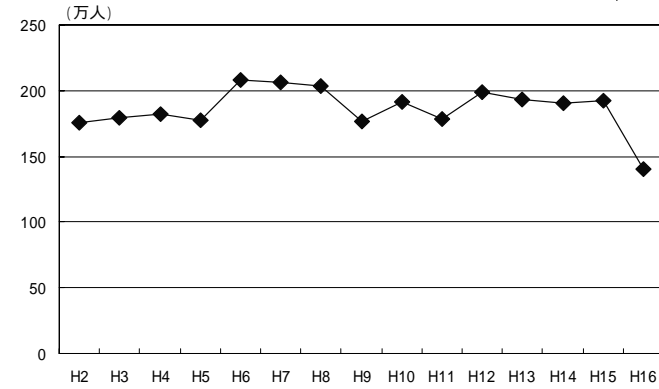


中部山岳国立公園(上高地)の事例

上高地



上高地の利用者数推移



出典：自然公園利用者数調

上高地の宿泊利用

年間宿泊者数 : 13.3万人 (平成15年¹⁾)

定員稼働率 : 47.8% (全国平均39.5%²⁾)

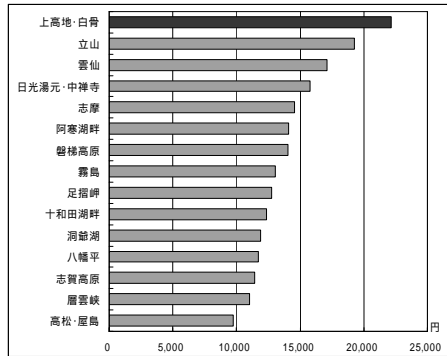


図 - 宿泊単価 (個人・グループ)³

出典

- 1: 自然公園利用者数調べ
- 2: 国際観光旅館営業状況等統計調査
- 3: JTB宿泊白書2006

上高地周辺図と環境省が整備した施設



所管地による参入規制

上高地集団施設地区内宿舎事業取扱要領

基本方針

1. 原則として、新規宿舎事業の参入は認めない。
2. 施設の建設及び経営にあたっては、上高地の風致景観に充分配慮されているものであること。
3. 施設は低廉簡便な部分も確保されるなど、登山者等の宿泊にも充分配慮されているものとするとともに、集団施設地区全体として統一のとれた外観意匠となるよう配慮されているものであること。

自然解説

明神池、大正池、小梨平などにおいて、ビジターセンタースタッフが探鳥会や自然観察などの解説サービスを提供
地区内各所にセルフガイドボックスを設置



マイカー規制

公園内の環境保全及び安全確保を目的として公園内道路への自家用車等の乗り入れを規制。

上高地における交通規制

	区間	規制対象	期間
マイカー規制	中の湯 ～上高地	全車両 (バス・タクシー・許可車両・緊急車両を除く)	上高地に車両が入ることのできる期間全て (2006年は4月21日～11月15日)
観光バス規制		バス (路線認可を得ている路線バスを除く)	2006年7月15日～2006年10月22日までの土日を中心とした特定日

その他、夜間や冬期間については緊急車両等を除き全車両通行止め

協議会等へのレンジャーの関わり

分野	会議・団体名称	参加形式
全般	上高地に関する行政機関連絡会議	参加
	上高地関係団体連絡協議会	参加
	上高地町会	等 会員
利用施設の整備・運営管理	北アルプス登山道維持連絡協議会	顧問
	上高地集団施設地区・管理用道路維持管理協議会	顧問
	上高地総合案内所運営協議会	会員
利用者管理	「中部山岳国立公園内(上高地地域、沢渡地域)における施設整備」打合せ会議	等 参加
	上高地自動車利用適正化連絡協議会	事務局
フィールド管理	北アルプス南部地区遭難防止対策協会	等 顧問
	上高地を美しくする会	事務局員
観光・地域振興	高山植物等保護対策協議会 中信地区協議会	等 理事
	上高地開山祭実行委員会	委員
その他	日本アルプス観光総会	等 来賓
	上高地パークボランティアの会	顧問
	自然公園財団上高地地区連絡協議会	等 委員

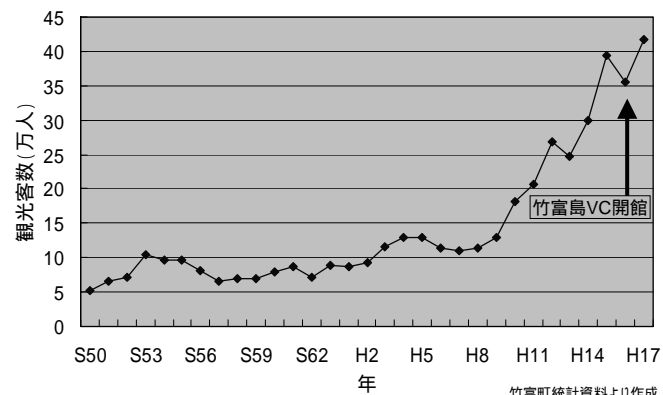
西表国立公園(竹富島)の事例

竹富島



- ・サンゴ礁の隆起によって出来た
周囲9.2kmの小島
- ・島は全域西表国立公園内
- ・人口 336人(H18.6)
- ・町並みは伝統的建造物群保存地区

竹富島入島観光客数の推移



竹富島ビジターセンター ゆがふ館

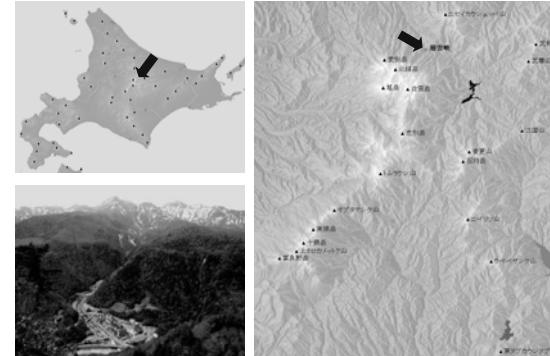


- ・環境省直轄整備ビジターセンター
- ・平成16年6月開館
- ・展示等の計画段階から地域住民と意見交換
- ・現地で文化遺産の研究と保全を目的に活動しているNPO法人たきどろんが管理
- ・竹富島自然学習歩道の出発点

入館者数
H16年度 約5万人
H17年度 約3.2万人
(観光客の約3/4)

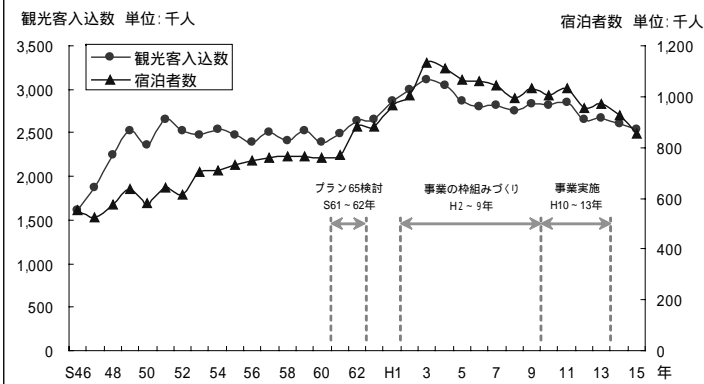
大雪山国立公園(層雲峡)の事例

大雪山国立公園 層雲峡集団施設地区



- ・大雪山塊北東部
- ・柱状節理の断崖峡谷(石狩川源流部)の渓谷部

層雲峡地区の観光客入込み数と宿泊者数の推移



- 事業前の課題
公園利用者は増大しても商店街は素通り 受入施設全体のリニューアル

層雲峡地区再整備の経緯

昭和62年度	上川・層雲峡圏プラン65基本構想策定(上川町)
平成2年度	層雲峡プラン65実行委員会設立(地権者21人で組織) 国立公園管理官:オブザーバー参加
平成6年度	層雲峡地区市街地整備総合再生基本計画策定(上川町) 国立公園管理官:協力委員として参加
平成7年度	層雲峡開発株式会社設立(第3セクター) 建設省事業による市街地再生基本計画策定
平成9年4月	層雲峡集団施設地区整備方針策定(環境省)
平成9年~12年度	再開発事業実施(層雲峡開発株式会社)
平成10年~13年度	町道層雲峡環状線改良工事(上川町)
平成10年~12年度	自然公園等整備事業(環境省) ビジターセンター、プロムナード、広場、駐車場

- ・地域主体で計画策定、国立公園管理官が積極的に指導助言

事業の分担



事業主体	事業手法	内容
環境省	自然公園等整備事業 (環境省)	駐車場、プロムナード、ビジターセンター 等
層雲峡開発(株)	優良建築物整備事業 (建設省)	宿舎、土産物店等の移設、建て替え (区画整理的手法)
町	町単独事業	温泉センター、道路

整備前後の比較



旧ビジターセンター



整備前(商店街中央道路)



新ビジターセンター



整備後(中央プロムナード)

写真: 上川町写真及び上川町「上川・層雲峡圏プラン65再整備計画」パンフレットより

整備前後の比較



資料: 上川町「上川・層雲峡圏プラン65再整備計画」パンフレットより

地域との対話・情報発信が重要

- 取組が比較的円滑に進んでいる地域は、自然保護官(レンジャー)と地域との対話・調整が十分に行われている場合が多い。
- 保護重視の時代は、利用を推進してこなかったために、地域との対話もおろそかになっていた地域もあると考えられる。
- 利用されてこそ国立公園であるという意識を持って管理運営にあたり、地域の活力を引き出すことにより、地域振興関係の様々なツールの活用も可能。

地域社会と国立公園の関係

